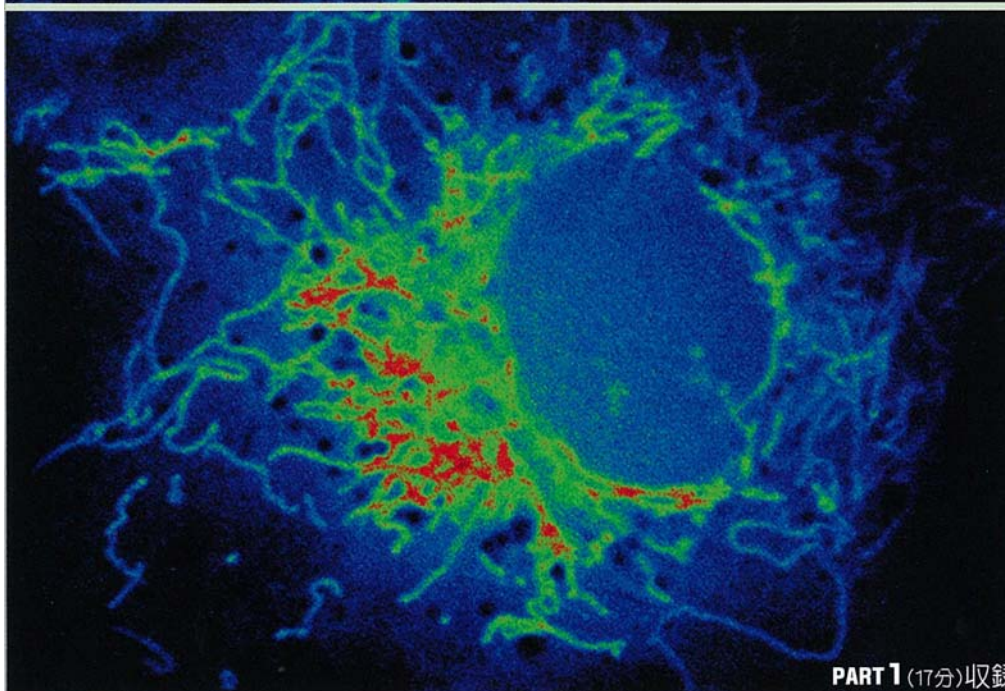


食後高血糖による血管内皮障害を探る

PART 2

バイエル学術ビデオ
DVD11分



PART 1 (17分)収録

バイエル薬品株式会社



Bayer HealthCare
Bayer Schering Pharma

Part 1では、ラット胸部大動脈の血管分岐部の単球を染色して、食後高血糖では、常時高血糖よりも、多くの単球が内皮細胞に接着することを見た。食後高血糖が、なぜ、多数の単球接着をもたらすのか？

Part 2では、グルコース・シミュレーション培養装置で食後高血糖状態を再現し、血管内皮細胞に起こる変化を追いかける。正常血糖・常時高血糖との違いは何か。細胞内の活性酸素はどうか。内皮細胞に単球を加えて培養すると何が起こるのか。

全編再生10分50秒

1. 食後高血糖は単球接着をもたらす
~PART1の実験結果から1分45秒
2. 内皮細胞の活性酸素を視覚化する
~グルコース濃度シミュレーション実験4分30秒
3. 活性酸素と単球4分35秒

監修 順天堂大学大学院

学術指導 順天堂大学内科学代謝内分泌学

教授 河盛隆造

先任准教授 綿田裕孝

東 浩介

PART 1 (17分) 収録



DVDビデオ対応の
プレーヤーで再生してください。

企画



Bayer HealthCare
Bayer Schering Pharma

資料請求先

バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://www.bayer.co.jp/byl>

コピー禁止 2009年3月作成

製作



株式会社 アイカム